

## The 14th JTTRI-KOTI Joint Seminar 2018

日時：平成30年10月10日（水）

場所：韓国交通研究院（世宗（セジョン）特別自治市）

## ■会議の概要

JTTRI-KOTI Joint Seminarは、日本と韓国の運輸交通分野の研究等について意見交換を行い、当該分野における両国の発展を目的としたセミナーである。本セミナーは、日韓が交互に幹事国となっているが、第14回目となる今回は韓国での開催となった。

韓国側は、政府機関である韓国交通研究院(KOTI) から王院長をはじめ研究員他計11名が参加した。他方、当研究所から、宿利会長、山内所長をはじめ研究員他計7名が出席した。

本セミナーでは、両機関のトップによる基調講演を行うとともに、2つの議題について日韓双方の研究者が発表を行い、闊達な議論が展開された。

また、両機関で行う共同研究(ジョイントスタディ)の進め方について議論が行われ、研究テーマ等今後詳細を検討することとなった。

## ① 基調講演 両機関の将来の研究課題

王院長から、研究所が推進している7つの政策、組織改編の内容(32の研究ユニットに変更)等について発表があった。また、山内所長から、近年重要な施

策である観光やデジタルエコノミーに関する調査研究を推進していること等について発表があった。

## ② 議題1 第四次産業革命における自動運転車関連

韓国側は、韓国の自動運転政策及び関連プロジェクトを、日本側は、日本における自動運転車ならびに自動運転バス・タクシーに関わる動向を発表した。

自動運転については、両国を含め国際的に共通した課題があり、その課題克服のため、両機関で政策ガイドライン等の共有を図ることの重要性が示された。

## ③ 議題2 第四次産業革命における交通弱者に対する交通サービス

韓国側は、福祉交通のための国の政策を、日本側は、外国人旅行者のための災害情報マネジメントを発表した。

日本と韓国では、高齢者の事故が多発する等状況がよく似ており、この課題に対して運転支援・自動運転技術を活用することが有効な対策である等活発な議論が行われた。

## ④ その他議題 共同研究

両機関で行う共同研究の今後の進め方について議論を行ったが、事前に研究テーマを選定して双方の研究者が一緒に研究を進めること、研究テーマについ

## The 14th JTTRI-KOTI Joint Seminar 2018

14:00~14:10	開会挨拶 山内弘隆 Jae Hak OH	運輸総合研究所所長 韓国交通研究院院長
14:10~14:30	(基調講演)両機関の将来の研究課題 山内弘隆 Jae Hak OH	運輸総合研究所所長 韓国交通研究院院長
14:30~16:00	(議題1)第四次産業革命における自動運転車関連 ・韓国の自動運転政策及び関連プロジェクト Kyeong Pyo KANG 韓国交通研究院自動運転センター長 ・日本における自動運転車ならびに自動運転バス・タクシーに関わる動向 安部遼祐	運輸総合研究所研究員
16:10~17:40	(議題2)第四次産業革命における交通弱者に対する交通サービス ・福祉交通のための国の政策 Sang Woo PARK 韓国交通研究院交通弱者用車両部長 ・外国人旅行者のための災害情報マネジメント Sunkyoung Choi	運輸総合研究所研究員
17:40~18:10	(議題3)共同研究(ジョイントスタディ)	
18:10~18:20	総括 宿利正史 Jae Hak OH	運輸総合研究所会長 韓国交通研究院院長



では、第四次産業革命を念頭に置いて、「AI・ビッグデータ・ロボット等に関する調査研究」、「運輸分野における防災対策に関する調査研究」を主な候補とし

て、今後調整を進めていくこととなった。また、共同研究の進捗状況や成果については、次回のセミナーで報告を行うこととなった。

今回のセミナーにより、両研究所の交流は益々深く確かなものとなり、両機関の連携強化を図る良い機会となった。

(とりまとめ:池田隆之)